

健康増進編

1 健康手帳の交付

市区町村における「健康手帳交付数」は1,048,697人で、「男」386,821人、「女」617,671人となっている（表1）。

表1 健康手帳の交付状況

(単位:人) 平成22(2010)年度

	総数	40～74歳	75歳以上
総数	1 048 697	900 955	143 717
男	386 821	328 959	57 862
女	617 671	537 045	80 626

注:1 東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

2 年齢階級別及び性別の計数不詳の市区町村があるため、総数と年齢階級別及び性別の計が一致しない。

2 健康診査

市区町村が実施した健康診査の受診者数は85,351人で、「男」38,985人、「女」46,366人となっている（表2）。

検査結果の状況を見ると、「高血圧症個別健康教育対象者（イ）」25,042人、「糖尿病個別健康教育対象者（ア）」23,546人となっている（表3）。

表2 性・年齢階級別にみた健康診査における受診者の状況

(単位:人) 平成22(2010)年度

	受診者数	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
総数	85 351	10 208	12 840	11 737	12 581	13 757	24 076
男	38 985	4 525	7 261	6 756	6 242	6 058	8 077
女	46 366	5 683	5 579	4 981	6 339	7 699	15 999

注:1 東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

2 老人保健法に基づき市区町村が実施していた基本健康診査は、平成20年度より高齢者の医療の確保に関する法律に基づき保険者が実施する特定健康診査と、健康増進法に基づき市区町村が実施する健康診査に分かれた。本報告では市区町村が実施した健康診査について計上している。

3 健康診査の受診者数は、「健康診査」、「訪問健康診査」及び「介護家族訪問健康診査」の受診者数の合計である。

4 年齢階級別の計数不詳の市区町村があるため、総数と年齢階級別の計が一致しない。

表3 性別にみた健康診査における検査結果の状況

平成22(2010)年度

	受診者数	検査結果								
		血圧		脂質異常		糖尿病		貧血 (疑いを含む。)	肝疾患 (疑いを含む。)	腎機能障害 (疑いを含む。)
		高血圧症 個別健康教育 対象者(ア)	高血圧症 個別健康教育 対象者(イ)	脂質異常症 個別健康教育 対象者(ア)	脂質異常症 個別健康教育 対象者(イ)	糖尿病 個別健康教育 対象者(ア)	糖尿病 個別健康教育 対象者(イ)			
総数(人)	85 351	10 409	25 042	17 880	21 004	23 546	9 964	10 969	13 967	8 937
受診者数に 占める割合(%)	100.0	12.2	29.3	20.9	24.6	27.6	11.7	12.9	16.4	10.5
男(人)	38 985	4 842	12 419	8 539	9 574	10 526	5 324	4 879	8 425	4 247
受診者数に 占める割合(%)	100.0	12.4	31.9	21.9	24.6	27.0	13.7	12.5	21.6	10.9
女(人)	46 366	5 567	12 623	9 341	11 430	13 020	4 640	6 090	5 542	4 690
受診者数に 占める割合(%)	100.0	12.0	27.2	20.1	24.7	28.1	10.0	13.1	12.0	10.1

注:1 東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

2 「個別健康教育対象者(ア)」は、特定健康診査及び健康増進法に基づく健康診査受診者のうち、検査結果から生活習慣病の発症予防等のため指導が必要な者で、平成22年度中に指導を開始した者をいい、「個別健康教育対象者(イ)」は、特定健康診査及び健康増進法に基づく健康診査受診者のうち、検査結果から生活習慣病の重症化予防等のため個別健康教育による指導が有効であると医師が認めた者で平成22年度中に指導を開始した者をいう。

3 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診

市区町村が実施した歯周疾患検診の受診者数は228,875人、骨粗鬆症検診の受診者数は259,761人となっている。

指導区分の割合をみると、「要精検者」は「歯周疾患検診」では80.6%、「骨粗鬆症検診」13.7%となっている。(表4)

市区町村における平成22年度の検診実施率は、「歯周疾患検診」54.2%、「骨粗鬆症検診」60.8%となっている(表5)。

表4 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施状況

平成22(2010)年度

(単位:人)

		受診者数 ¹⁾	指導区分					
			要精検者	受診者数に占める割合(%)	要指導者	受診者数に占める割合(%)	異常認めず	受診者数に占める割合(%)
歯周疾患検診	総数	228 875	184 396	80.6	20 136	8.8	22 854	10.0
	40歳	63 430	50 065	78.9	5 955	9.4	6 972	11.0
	50歳	43 281	34 810	80.4	3 820	8.8	4 334	10.0
	60歳	58 853	47 911	81.4	5 088	8.6	5 494	9.3
	70歳	63 311	51 610	81.5	5 273	8.3	6 054	9.6
骨粗鬆症検診 ²⁾	総数	259 761	35 560	13.7	71 079	27.4	153 057	58.9
	40歳	30 003	949	3.2	3 333	11.1	25 720	85.7
	45歳	21 238	477	2.2	2 307	10.9	18 453	86.9
	50歳	31 001	922	3.0	4 058	13.1	26 019	83.9
	55歳	32 068	2 831	8.8	8 138	25.4	21 095	65.8
	60歳	54 942	8 611	15.7	19 242	35.0	27 076	49.3
	65歳	39 603	8 369	21.1	14 919	37.7	16 291	41.1
	70歳	50 906	13 401	26.3	19 082	37.5	18 403	36.2

注：東日本大震災の影響により、岩手県一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

1) 指導区分の計数不詳の市区町村があるため、受診者数と指導区分の計が一致しない。

2) 「骨粗鬆症検診」の対象者は女性である。

表5 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施市区町村数及び検診実施率の年次推移

	歯周疾患検診					骨粗鬆症検診				
	平成18年度 (2006)	19年度 ('07)	20年度 ('08)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)	平成18年度 (2006)	19年度 ('07)	20年度 ('08)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)
実施市区町村数	959	950	954	941	921	1 167	1 151	1 106	1 075	1 034
検診実施率(%) ²⁾	52.5	52.3	53.0	53.9	54.2	63.9	63.4	61.4	61.6	60.8
全国市区町村数	1 827	1 816	1 800	1 746	1 700	1 827	1 816	1 800	1 746	1 700

注：1) 平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。なお、岩手県、宮城県及び福島県の全域を除いた前年度との比較は、28頁「IV 参考1 前年度（平成21年度）との比較について」の参考表13に掲載している。

2) 検診実施率＝（実施市区町村数／全国市区町村数）×100

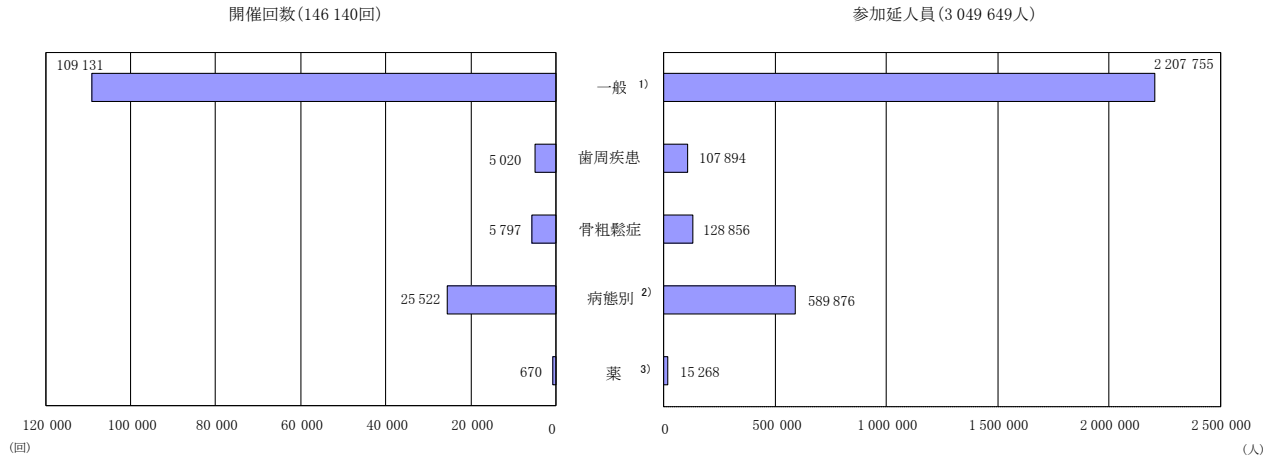
4 健康教育

市区町村が実施した集団健康教育の開催回数は146,140回、参加延人員は3,049,649人となっている。

内容別にみると、開催回数、参加延人員ともに、「一般」が最も多くなっている。(図1)

図1 集団健康教育の実施状況

平成22(2010)年度



注:東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。

1)「一般」とは、生活習慣病の予防のための日常生活上の心得、健康増進の方法、食生活の在り方等健康に必要な事項の教育をいう。

2)「病態別」とは、肥満、高血圧、心臓病等と個人の生活習慣との関係及び健康的な生活習慣の形成についての教育をいう。

3)「薬」とは、薬の保管、適正な服用方法等に関する留意事項、薬の作用・副作用の発現に関する知識の教育をいう。

5 健康相談

平成22年度に市区町村が実施した健康相談の被指導延人員は1,537,679人であり、そのうち重点健康相談は532,941人となっている。

重点健康相談を内容別にみると、「病態別」が176,509人と最も多くなっている。(表6)

表6 健康相談の実施状況

(単位:人)

		被指導延人員				
		平成18年度 (2006)	19年度 ('07)	20年度 ('08)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)
総数		2,944,465	2,563,583	1,693,691	1,658,638	1,537,679
重点健康相談	総数	994,221	877,717	562,188	553,651	532,941
	高血圧	172,577	123,623	94,872	88,236	85,446
	脂質異常症	73,796	57,934	27,901	25,458	24,377
	糖尿病	72,112	58,944	35,455	30,305	30,705
	歯周疾患	143,421	135,678	91,236	83,792	84,146
	骨粗鬆症	137,898	125,904	103,918	107,085	104,002
	女性の健康	.	.	.	27,634	27,756
	病態別 ²⁾	394,417	375,634	208,806	191,141	176,509
総合健康相談		1,950,244	1,685,866	1,131,503	1,104,987	1,004,738

注:1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。なお、岩手県、宮城県及び福島県の全域を除いた前年度との比較は、29頁「TV 参考1 前年度(平成21年度)との比較について」の参考表14に掲載している。

2)「病態別」とは、相談内容の「高血圧」から「骨粗鬆症」を除く、肥満、心臓病等の病態別に、個人の食生活その他の生活習慣を勘案して行う相談指導等をいう。

6 機能訓練

平成22年度に市区町村が実施した機能訓練の実施状況は、「実施施設数」459ヶ所、「被指導延人員」70,688人となっている（表7）。

表7 機能訓練の実施状況

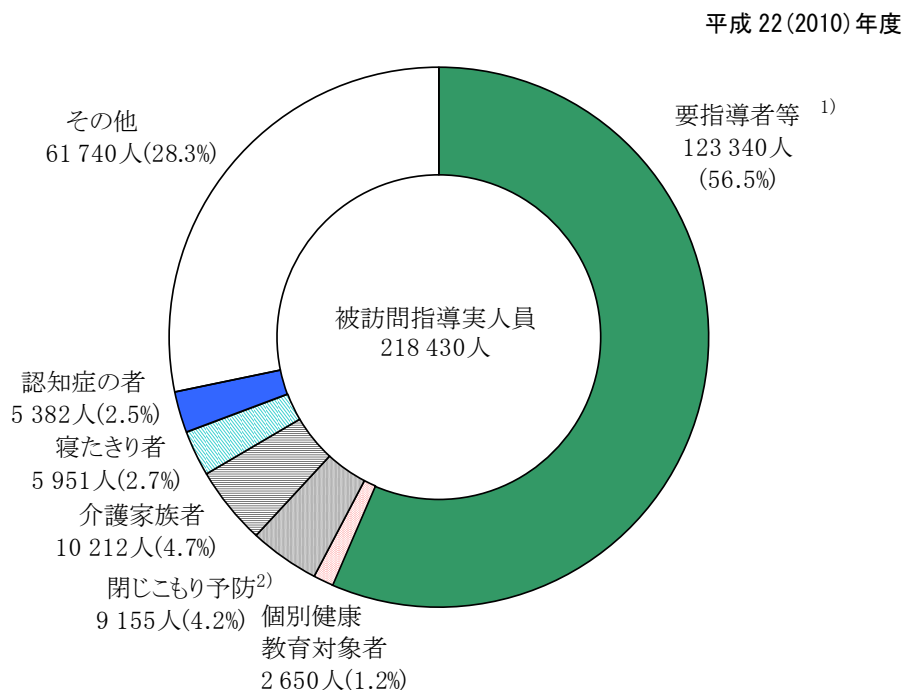
	平成18年度 (2006)	19年度 ('07)	20年度 ('08)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)
実施施設数 (ヶ所)	1 232	957	580	511	459
実施回数 (回)	34 182	23 624	16 286	14 195	13 647
被指導実人員 (人)	15 264	9 090	5 002	4 695	4 431
被指導延人員 (人)	191 286	123 975	79 699	75 008	70 688

注:1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。なお、岩手県、宮城県及び福島県の全域を除いた前年度との比較は、29頁「IV 参考1 前年度（平成21年度）との比較について」の参考表15に掲載している。

7 訪問指導

市区町村が実施した訪問指導の被訪問指導実人員は218,430人となっており、訪問指導の対象者別にみると、「要指導者等」が123,340人（56.5%）と最も多くなっている（図2）。

図2 訪問指導の対象者別にみた被訪問指導実人員



注:東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

1)「要指導者等」とは、生活習慣病改善のための指導を行った者をいう。

2)「閉じこもり予防」とは、介護予防の観点から支援が必要な者で、健康管理上訪問指導が必要と認められた者をいう。

8 がん検診

(1) がん検診の受診者数及び受診率

平成22年度に市区町村が実施したがん検診の受診率は、「胃がん」9.6%、「肺がん」17.2%、「大腸がん」16.8%、「子宮がん」23.7%、「乳がん」18.8%となっている(表8)。

表8 がん検診受診者数及び受診率の年次推移

(単位:人)

		平成18年度 (2006)	19年度 ('07)	20年度 ('08)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)
胃がん	受診者数	4 227 730	4 262 048	3 916 203	3 946 780	3 775 071
	受診率 (%) ²⁾	12.1	11.8	10.2	10.1	9.6
肺がん	受診者数	7 387 430	7 506 113	6 685 467	6 911 047	6 799 918
	受診率 (%) ²⁾	22.4	21.6	17.8	17.9	17.2
大腸がん	受診者数	6 824 088	7 176 312	6 418 334	6 693 859	6 761 698
	受診率 (%) ²⁾	18.6	18.8	16.1	16.5	16.8
子宮がん	受診者数	3 320 265	3 538 132	3 499 278	4 412 368	4 533 835
	受診率 (%) ²⁾	18.6	18.8	19.4	21.0	23.7
乳がん	受診者数	1 631 811	1 892 834	1 792 176	2 574 508	2 492 868
	受診率 (%) ²⁾	12.9	14.2	14.7	16.3	18.8

注:「受診者数」及び「受診率」については、31~33頁「VI 用語の解説」参照。

1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。なお、岩手県、宮城県及び福島県の全域を除いた前年度との比較は、29頁「IV 参考1 前年度(平成21年度)との比較について」の参考表16に掲載している。

2)受診率は、計数不詳の市区町村を除く。

(2) 平成21年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況

平成21年度に市区町村が実施したがん検診における要精密検査者のうち、「がんであった者のがん検診受診者に対する割合」は、「胃がん」0.17%、「肺がん」0.06%、「大腸がん」0.22%、「子宮がん」0.08%、「乳がん」0.30%となっている(表9)。

表9 平成21年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況¹⁾

平成21(2009)年度

(単位:人)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
がん検診受診者数 ¹⁾	3 794 488	6 680 014	6 499 000	4 275 409	2 502 080
要精密検査者数 ¹⁾	360 831	193 631	480 628	60 866	220 795
精密検査受診率 ²⁾ (%)	80.1	75.9	62.9	64.2	82.3
「がん検診受診者」に対する割合 (%)	9.51	2.90	7.40	1.42	8.82
がんであった者数 ¹⁾	6 333	3 871	14 232	3 239	7 447
「がん検診受診者数」に対する割合 (%)	0.17	0.06	0.22	0.08	0.30
「要精密検査者」に対する割合 (%)	1.76	2.00	2.96	5.32	3.37
精密検査未受診者数 ¹⁾	36 103	20 611	88 688	9 395	14 265
精密検査未受診率 ²⁾ (%)	10.0	10.6	18.5	15.4	6.5
精密検査未把握者数 ¹⁾	35 827	26 109	89 544	12 360	24 839
精密検査未把握率 ²⁾ (%)	9.9	13.5	18.6	20.3	11.2

注:東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。

1)平成21年度がん検診受診者における要精密検査者は、必ずしも受診年度(平成21年度)に結果が判明しているとは限らないため、その翌年度(平成22年度)に判明した者も含めて把握している。そのため、「がん検診受診者」についても平成21年度受診者を平成22年度報告で改めて把握したものであり、「表8 がん検診受診者数及び受診率の年次推移」の平成21年度がん検診受診者数の数値とは異なる。

2)「精密検査受診率」、「精密検査未受診率」及び「精密検査未把握率」については、31~33頁「VI 用語の解説」参照。「精密検査未受診者数」及び「精密検査未把握者数」が計数不詳の市区町村を除く。

(3) がん検診受診率の分布状況

市区町村のがん検診受診率の分布をみると、がん検診受診率が「50%以上」と高い市区町村数は、「肺がん」が182（10.7%）と最も多く、次いで「子宮がん」が111（6.5%）となっている。一方、がん検診受診率が「0～10%未満」と低い市区町村数は、「胃がん」が659（38.8%）と最も多く、次いで「乳がん」が371（21.8%）となっている。（表10、図3）

表10 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

平成22(2010)年度

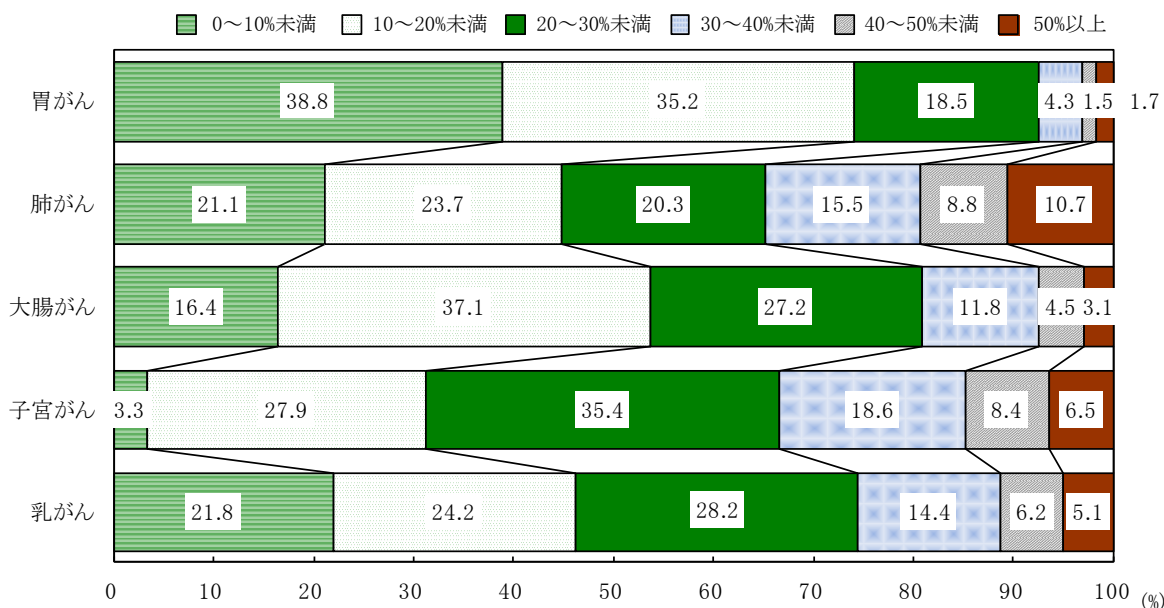
	全国 市区町村数	がん検診受診率					
		0～10%未満 ¹⁾	10～20%未満	20～30%未満	30～40%未満	40～50%未満	50%以上
胃がん	1 700	659	599	314	73	26	29
肺がん	1 700	358	403	345	263	149	182
大腸がん	1 700	279	631	462	200	76	52
子宮がん	1 700	56	474	601	316	142	111
乳がん	1 700	371	412	480	245	105	87

注：東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

1) 「0～10%未満」は、計数不詳を含む。

図3 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

平成22(2010)年度



注：東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

9 肝炎ウイルス検診

市区町村が実施した肝炎ウイルス検診の受診者数は、「B型肝炎ウイルス検診」545,767人、「C型肝炎ウイルス検診」542,478人となっている。

B型肝炎ウイルス検診において「陽性」と判定された者は5,238人、C型肝炎ウイルス検診において「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い」と判定された者は4,517人となっている。(表11)

肝炎ウイルスに関する健康教育の開催回数は1,331回、参加延人員は24,834人、健康相談の開催回数は1,954回、参加延人員は10,834人となっている(表12)。

表11 肝炎ウイルス検診の実施状況

(単位:人) 平成22(2010)年度

	B型肝炎ウイルス検診		C型肝炎ウイルス検診	
	受診者数	「陽性」と判定された者	受診者数	「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い」と判定された者
総数	545,767	5,238	542,478	4,517
40歳	62,608	382	63,715	333
41～44歳	39,019	313	38,875	198
45～49歳	34,607	342	34,308	246
50～54歳	36,486	371	36,062	278
55～59歳	45,958	571	45,220	305
60～64歳	95,264	1,104	94,283	575
65～69歳	85,538	969	84,936	673
70歳以上	146,287	1,186	145,079	1,909

注：東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

表12 肝炎ウイルスに関する健康教育・健康相談の実施状況

平成22(2010)年度

健康教育		健康相談	
開催回数(回)	参加延人員(人)	開催回数(回)	参加延人員(人)
1,331	24,834	1,954	10,834

注：東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。